

各位

令和7年12月22日

愛媛大学附属高等学校国語科

「令和7年度 教科教育研究会（国語科の部）」のご案内

本研究会は、毎日の実践に取り組んでいらっしゃる先生方や、大学で教科教育学講座に学ばれる研究者、学生の方々とともに学び合う会になることを目指しております。

今年度の研究会は、愛媛大学副学長の小助川元太先生の提案授業と、愛媛大学教育学部の清田朗裕先生の提案発表を柱として開催することとなりました。小助川先生には、教科書に掲載されている古典教材と現代作家による口語訳との比較を通して読み深めていく授業を公開していただきます。清田先生には、2年間にわたる本校での授業実践を踏まえて、その成果および、教材開発や新たな古典教育のあり方についてご提案いただきます。また、研究協議では、愛媛大学名誉教授三浦和尚先生にもご参加いただき、より深い学びの会となることを目指しています。その後、校内にて懇親会も開催予定ですので、ぜひご参加ください。

年度末も近づき、お忙しい折かと存じますが、大局の中で日々の実践の方向性を見つめる機会にさせていただきたく、ご案内申し上げます。

記

1. 日 時 令和8年3月10日（火）13時00分～16時05分（懇親会 ～17時50分）

2. 場 所 愛媛大学附属高等学校

3. 主 催 愛媛大学附属高等学校国語科

4. 日 程 13時00分～13時10分 開会

13時10分～13時35分

提案発表（質疑応答含む）

「読みの交流を促す『伊勢物語』の授業」

発表者 森 早織梨（愛媛大学附属高等学校）

13時45分～14時15分

提案発表

「古典教育と産業の連携

—愛媛大学附属高等学校の実践を踏まえて—

発表者 清田 朗裕 先生（愛媛大学）※裏面

14時25分～15時10分

提案授業

「作家と読む古文

—古文教材と作家による口語訳の比較—

授業者 小助川 元太 先生（愛媛大学）※裏面

15時20分～16時00分

研究協議

16時00分～16時05分

閉会

16時20分～17時50分

懇親会 ※詳細は申し込みフォームにて

申込方法

以下の要領で、Web 上にてお申し込みください。

①愛媛大学附属高校の学校ホームページにアクセスする。

<http://www.hi.ehime-u.ac.jp/>



②ホームページ上にリンクされている、「愛媛大学附属高校教科研究会のご案内」のバナーをクリックする。



③「国語科の部」の「参加申し込みフォーム」に必要事項を記入する。



④「参加申し込みフォーム」の一番下にある「送信」をクリックする。

申込締切日 令和8年2月24日（火）〆切でお願いいたします。

※お問い合わせ先 〒790-8566 愛媛県松山市樽味3-2-40

愛媛大学附属高等学校 大西倫紀

TEL 089-946-9911 FAX 089-977-8458

「作家と読む古文—古文教材と作家による口語訳の比較—」

平成 30 年告示の高等学校学習指導要領【国語編】の「言語文化」「B読むこと」(1)の「エ 作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めること。」「オ 作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもつこと。」について、「解説編」では、

小説と原作とを比較すると、例えば、ある出来事の経緯や物語の構成にいくつかの相違が認められる。このことを踏まえて作品に描かれた人物像を解釈することによって、一つの作品だけを読むことでは得られない新たな発見や問いが期待できる。内容の解釈を深めるとは、このように、作品や文章の内容を様々な観点から捉え直し、新たな発見や問いを抱きながらその意味付けを更新し、内容の解釈をより精緻で深いものに統合していくことである。(130 ページ)とある。また、それを反映する形で、教科書には古典教材を掲示した後に、現代作家による訳を掲載するものも見られる。ただし、実際の現場ではその扱いがなかなか難しいというのが本音ではないだろうか。

そこで、今回は、教科書に掲載される古典教材（『平家物語』もしくは『伊勢物語』）と現代作家による口語訳との比較をとおして、その違いから見えてくるものを生徒と考えながら、読みを深めていく授業を提案してみたい。

「古典教育と産業の連携—愛媛大学附属高等学校の実践を踏まえて—」

従来、国語科の古典教育では、文学的な文章が主たる教材となっています。

しかし、国語科自体は、文学的な文章だけを取り上げるわけではありません。説明的な文章や実用的な文章も同様に扱われます。ではなぜ、古典教育では説明的な文章や実用的な文章を取り上げないのでしょうか。

このような問題意識をもち、この 2 年間、愛媛大学附属高等学校において、「国語科・農業科コラボ授業」と題し、農業に関する説明的な文章・実用的な文章に該当する古典作品を取り上げ、教材開発・授業実践を行ってきました。

本提案発表では、この 2 年間の成果を紹介しつつ、新たな古典教育のあり方についても考えていきたいと思います。